

## 平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

<b>授業科目名</b>	アスレティックトレーニング演習		<b>担当教員</b>	村上 憲治			
<b>領域水準コード</b>	E-3	<b>単位数</b>	2	<b>履修方法</b>	必修	<b>授業の方法</b>	講義
<b>授業の概要</b>							
スポーツ現場で競技者の健康管理に必要な傷害および疾病の基礎情報を講義する。さらに、疫学研究および文献を通してスポーツ現場に必要な健康管理に関する情報を把握・検証し、実験・実践を通して必要な改善および解決、また予防方法に対する知識を深める。							
<b>授業の一般目標</b>							
スポーツ現場で競技者の健康管理のために必要な傷害(発症メカニズムも含め)・疾病に対する基礎知識、技術、対応、方法・方策等について深く理解する。							
<b>授業の到達目標</b>							
<b>■ 認知的領域</b>	様々なトレーニングに関する信頼性や問題点を考えることができる。						
<b>■ 情意的領域</b>	リハビリテーションや予防トレーニングにおける科学的根拠の重要性と選手への心理的配慮も重要であることを認識できるようになる。						
<b>■ 技能表現的領域</b>	各々の症状に応じたトレーニングプログラム作成能力やリハビリテーションスキルを構築する。						
<b>授業計画(全体)</b>							
代表的なスポーツ傷害とそのアスレティックトレーニングについて検証・討議する。また、授業の内容をもとに各自でリハビリテーションや予防プログラムを考え、その内容について検証・討議する。これらの作業は個人もしくはグループで行う。							
<b>授業計画(詳細)</b>							
回	授業テーマとその内容						
1	[テーマ] オリエンテーション、アイスブレイク [内容] 担当教員の紹介、授業の目標と進め方、シラバス説明、成績評価の説明 [授業外学習の指示等] シラバスを熟読しておくこと	9	[テーマ] 外傷・障害要因とその改善方法① [内容] ある症例(課題)をもとに外傷・障害要因とその改善方法について検討する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること				
2	[テーマ] アスレティックトレーニングの意義 [内容] 現代の傷害像と運動環境などとも絡めながら、アスレティックトレーニングの意義について説明する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること	10	[テーマ] 外傷・障害要因とその改善方法② [内容] ある症例(課題)をもとに外傷・障害要因とその改善方法について検討する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること				
3	[テーマ] アスレティックトレーニングのプロセス [内容] アスレティックトレーニングの進め方に関する基礎的事項や考え方を概略する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること	11	[テーマ] 競技復帰に必要なアスレティックトレーニングの実践 [内容] 競技特性や傷害特性を考慮した、最終段階のリハビリテーションの実践。 [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること				
4	[テーマ] アスレティックトレーニングに関する測定・評価 [内容] まずは自分の体をチェックし、傷害との関連性について検討する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること	12	[テーマ] 傷害予防に必要なアスレティックトレーニングの実践 [内容] 競技特性や傷害特性を考慮した、傷害予防、再発予防トレーニングの実践。 [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること				
5	[テーマ] アスレティックトレーニングの実践① [内容] 具体的なトレーニング方法について説明、実践し、その効果について検討する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること	13	[テーマ] アスレティックトレーニングのプログラム作成 [内容] 傷害発生から競技復帰(再発予防含む)までのトレーニングプログラムを作成し検討する。 [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習しておくこと				
6	[テーマ] アスレティックトレーニングの実践② [内容] 具体的なトレーニング方法について説明、実践し、その効果について検討する [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること	14	[テーマ] アスレティックトレーニングプログラムに対する評価① [内容] アスレティックトレーニングに関する実技試験形式の評価を行い、その内容を検証・討議する。 [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習しておくこと				
7	[テーマ] アスレティックトレーニングの実践③ [内容] 競技特性に応じたトレーニング方法について説明、実践し、その効果について検討する。 [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習すること	15	[テーマ] アスレティックトレーニングプログラムに対する評価② [内容] アスレティックトレーニングに関する実技試験形式の評価を行い、その内容を検証・討議する。 [授業外学習の指示等] 授業資料を基に復習しておくこと				
8	[テーマ] 外傷・障害要因の分析 [内容] 患部だけでなく全体像の把握の仕方について説明・検討する [授業外学習の指示等] 期日までに課題を行うこと	16	[テーマ] まとめ [内容] 実技試験形式評価に対する、フィードバックを行う [授業外学習の指示等] 実技試験形式の評価の内容を再度整理すること				
<b>授業外学習の指示等</b>							
授業資料を基に復習をすること、また次回授業に関する予習をしておくこと。							
<b>成績評価方法(方針)</b>							
評価は、授業内課題・実技(50%)と授業外レポート(50%)に基づいて行う。							
<b>成績評価方法(詳細)</b>					<b>履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)</b>		
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	・2/3以上の出席がない学生は、評価対象外とする(欠格条件)。 ・授業態度が悪い学生は、成績評価から減点する。 ・20分以上の遅刻は、欠席とみなす。 ・授業計画は、授業の進行状況により、多少前後することがある。 ・専門的な内容が含まれるので、関連科目の予習および授業後の復習を行うこと。		
定期試験(期末試験)				評価対象外			
小テスト・授業内レポート				評価対象外			
授業外のレポート	◎			50			
ポートフォリオ	◎	◎	◎	50			
出席				欠格条件			
その他				減点			
<b>関連科目</b>							
<b>教科書</b>							
特に指定しない				<b>参考書</b>	特に指定しない		
<b>連絡先</b>							
<a href="mailto:kn-murakami@sendai-u.ac.jp">kn-murakami@sendai-u.ac.jp</a>							